



星の子だより

第23号 2016年11月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム



木々の葉が次第に色づき始め、秋が深まってきました。朝夕に寒さを感じるようになりましたが、その分、日中のぼかぼかとしたお日様が温かく心地よく感じられますね。

これからは寒さが厳しくなり子どもも大人も体調を崩しやすくなりますので、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけて、病気をよせつけない身体づくりをしましょう。



星の子ルームには毎日、月齢差のある様々な症状のお子さんが来室します。『一日中何して過ごしているのかしら?』と心配な保護者の方もいらっしゃると思います。今回は子どもたちがどのように過ごしているかを写真で紹介したいと思います。



トミカタウンをつかったよ
走らせてみよう!



スパンコールやマスキ
ングテープを使って木を飾
りました!



わたし、これ得意なのよ☆
みててね!



男の子も女の子も折り
紙は大好きです。



お店屋さんです!このりぼんが
いいかな?



シールやお家を貼って自分
の町を作りました!

熱が少し高めでも、比較的元気なお子さんが多いので、安静を保ちながらも、1日楽しく過ごすことができるように、『ごっこあそび』『季節の製作』など様々な遊びを準備するように心がけています。一日の様子は保育室入口横のホワイトボードに記していますので、お帰りの際にどうぞご覧ください。



第26回全国病児保育研究大会に参加して

H28.7.17~18日に新潟にて開催された全国病児保育研究大会に今年も参加してきました。今年のテーマは「地域ネットワークの中の病児保育」です。私たちは済生会こどもクリニックと共同で、保育園の保育士に対して行った「病児・病後児保育施設に対することと病気に関する意識調査」について発表しました。

一方、食物アレルギーに関する講演や、病院の病棟保育士による「病児保育に役立つプレパレーション」の講演を聴講してきました。それぞれの分野の専門家の話を聞くことができ、大変学ぶことの多い研究大会でした。今回学んだことを活かして、お子さんひとりひとりにあった保育看護を行っていききたいと思います。(石屋)



保育室からのお知らせ



☆初めてのご利用☆

事前登録は必要ありません。電話などで予約の上、利用当日に「登録票」「利用申込書」「こどもカルテ」「かかりつけ医連絡票」をご持参ください。(書式は下記HPから入手できます。)

☆かかりつけ医連絡票☆

かかりつけ医連絡票の有効期限は、処方期間及び次回受診日までとなっております。処方なし、次回受診の予定がない場合は最大で7日間までです。

☆アデノウイルス感染症☆

アデノウイルス感染症(プール熱や流行性角結膜炎など)は伝染性疾患に指定されています。当室では回復期(医師の許可が必要)からのお預かりしております。

☆RSウイルス感染症☆

RSウイルス感染症は利用可能ですが、隔離が必要な場合は利用できません。また0歳児は同室不可なので予約の順番によっては利用できないことがあります。

ちょっとひと休み

11月は「七五三」ですね。もう済ませた方、お疲れ様でした。これからの方は準備が大変ですね。私も数年前、息子が「七五三」を迎えました。面倒くさがり屋の私は簡単に済ませようと思っていましたが、そんな矢先、天国にいる曾祖父から「毘沙門天」にお参りするようにお告げがありました。(本当です!)お告げどおりにお参りしたところ、住職さんが「最後までいい子でいましたね。」と褒めながら千歳あめを渡してくれました。息子はそのことを覚えていて、今でもその話をします。うれしかったんですね。写真だけで済ませてしまう方も多いようですが、お参りも記憶に残るのでお勧めします。「毘沙門天」の効果があったのかはわかりませんが、大きく育っています。(遠藤)



◎ 予約・問い合わせ 022(717)7819

◎ メールアドレス hoshinoko@grp.tohoku.ac.jp

◎ ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>